



International Symposium at Hitotsubashi University

Border / Boundary Control in the Age of Transnationalization:

Comparing Experiences in North America, E.U., & Japan



Thomas Faist
Professor, Bielefeld Univ.
"Moral Polity and the Public Role of Migration Research"

2018年
10月27日(土)~10月28日(日)
一橋大学国立西キャンパス インテリジェント・ホール
(JR中央線国立駅より南へ徒歩10分)

使用言語: 日英 English/Japanese
(同時通訳付 Simultaneous Interpretation)

主催: 一橋大学・国際社会学プログラム
科学研究費プロジェクトチーム(基盤研究A) 移民・難民選別システムの重層的再編成))
共催: 一橋大学・大学院社会学研究科
後援: Hitotsubashi University International Fellow Program Inbound
科学研究費(若手研究B) 国境管理におけるEUとNGOのパートナーシップ))
基盤研究B) 社会的境界研究の構築と移民・トランスナショナリズムへの応用))

連絡先: 政治学・国際社会学共同研究室 (042-580-8803 trans_soc@soc.hit-u.ac.jp)
参加申し込みは、<https://goo.gl/forms/w4R6WH1CNQ7p4r82>からお願いします。



国際シンポジウム
トランスナショナル化と
国境/境界規制
北米・EU・日本の比較

Transnational
Sociology
Program
Hitotsubashi University
25 years anniversary
(25周年記念)

第1日……10月27日(土) 10:30~18:40 (開場10:00)

開会の辞……小井士彰宏◎一橋大学
【総合司会】森千香子◎一橋大学

基調講演……トマス・ファイト◎ヒールフェルト大学
“Forced Migration in an (Im)Moral Polity and the Public Role of Migration Research”

第1部(13:30~)……北米: トランスナショナル空間と移民管理レジームの厳格化
ロバート・C・スミス◎ニューヨーク市立大学 ラファエル・アラルコン◎メキシコ北部国境大学院大学 飯尾真貴子◎一橋大学

【討論者】小井士彰宏 【司会】南川文里◎立命館大学

第2部(16:00~)……EU: 共通外部国境政策と移民/難民選別
エレナ・サンチェス◎バルセロナ国際問題研究所 ハオロ・クティタ◎アムステルダム自由大学 錦田愛子◎東京外国語大学

【討論者】伊藤るり◎津田塾大学 【司会】柄谷利恵子◎関西大学

第2日……10月28日(日) 13:30~18:40 (開場13:00)

第3部(13:30~)……日本: 「移民政策」なき入管体制とトランスナショナル関係の多元的拡張
塩原良和◎慶応義塾大学 鈴木江理子◎国土領大学 恵羅さとみ◎成蹊大学

【討論者】トマス・ファイト、ロバート・C・スミス 【司会】小井士彰宏

第4部(16:30~)……総括討論——地域間比較と日本の移民政策の今後
1~3部のパネリスト、【司会】森千香子

